

受賞者一覧

(敬称略・順不同)

文部科学大臣賞

北九州市立大学 地域共生教育センター
子ども食堂応援プロジェクト (福岡県)

優秀賞

【小・中学生の部】 刈谷市立雁が音中学校 (愛知県)

【高校生の部】 青森県立名久井農業高等学校
5代目 TEAM PINE (青森県)

【大学・一般の部】 ベイラー大学
ベイラー・イン・ジャパン (アメリカ)

特別賞

■ 名寄市立名寄東中学校 ボランティア部 (北海道)

■ 福島県立平工業高等学校 生徒会 (福島県)

☆第15回SYDボランティア奨励賞には、38都道府県とアメリカより[小・中学生の部]28件、[高校生の部]28件、[大学・一般の部]13件の計69件の応募があり、選考委員会において厳正なる選考の結果、上記受賞者が決定されました。

SYDは、1906年、東京府師範学校(現在の東京学芸大学)に学ぶ蓮沼門三を中心とする青年たちによって創立された社会教育団体です。“愛と汗の実践”を理念として「心の教育」一筋に歩み続けて115年、青少年の健全育成を中心とした様々な活動を行っており、今、みんなの幸せを願う「幸せの種まき運動」を全国的に展開

文部科学大臣賞

北九州市立大学地域共生教育センター

子ども食堂応援プロジェクト

(福岡県)

「子ども食堂応援プロジェクト」は、福岡県北九州市内の子ども食堂(計6か所)における活動に参加し、子ども達の孤食を防ぐだけでなく、子ども達と高齢者を含む大人が地域で安心して過ごすことができる居場所をつくることを目的としています。多くの利用者がいる一方で、受け入れ体制の整備や支援内容の充実化、交流促進が大きな課題となっていました。そこで北九州市子ども家庭局(以下、子ども食堂ネットワーク北九州)のご協力のもと、地域貢献活動を通して学生自身が成長できる団体、「子ども食堂応援プロジェクト」を立ち上げました。2020年11月現在、北九州市立大学に在籍する様々な学部の学生計53名の学生が所属し、授業の無い空き時間を利用して子ども食堂に出向くほか、ボランティアネットワークの拡大やイベントの企画、食を通じた募金活動などを展開しています。

子ども食堂では、一緒に食事をするだけではなく、子ども達の見守りや学習支援、一緒に思いっきり遊んだりしています。利用者にもっと楽しんでもらうため、運営者と利用者の方たちと話し合い、子どもと大人のお誕生日会や季節に応じたイベントを企画し、定期的を実施しています。また、北九州市立大学の食堂でカレーを注文すると、売上の一部が市内子ども食堂の運営資金として寄付される「カレーforチルドレン」という募金活動にも力を入れています。昨年度の実績としては、24,220円(カレー1,211食分)を寄付することができました。さらに、2019年12月には、子ども食堂ネットワーク北九州、市内他大学の学生と「北九州子ども食堂学生サミット」を合同開催。子ども食堂ネットワーク北九州主催の子ども食堂支援企業バスツアーにも参加し、企業に対する感謝状の朗読をしたほか、子ども未来アクション学習会を提案し、地域ボランティアの方々に子どもの相対的貧困について話題提供を行うなど、協働で数々のイベントを行いました。

2020年4月以降は、新型コロナウイルスの影響により大学生が子ども食堂で活動することが困難な状況が続いています。しかし、活動は休止せず、オンラインで継続的に打ち合わせを行い、学生から子ども食堂に向けてのメッセージや、自宅で楽しむことができるクイズや遊びなどを考え、8月からお手紙を発行しています。直接会うことができなくても、お手紙を通して私たちと子ども達、地域の方が繋がり合えるのだと信じています。私たち大学生は本活動を通して、共感力、課題を発見し解決する力、責任感や実行力、柔軟性、計画性、そして献身性を身に付けてきました。これらの能力はどれも重要であり、大学卒業後も子ども食堂の応援をはじめとする地域づくりに活かしていきたいです。



子ども食堂で配膳のお手伝い



クリスマス会の開催



バルーンアートづくりに挑戦!



みんな揃っていただきまーす!



カレーforチルドレン

キャンペーンの様子

(大学食堂でカレーを食べると1食につき20円が北九州市内の子ども食堂運営団体へ寄付されます。)